

# 見やすい学習環境を整えるための ハンドブック

～ICT・ATを活用して～



# こんなお子さんはいませんか？

もしかしたら、その子にとって少し見えにくい環境なのかもしれません。環境を整えてあげることで、学習や生活が上手にできるようになることがあります。つぎの項目にあてはまることはありませんか。

- 段差でよくつまずいたり、物にぶつかったりする。
- テレビや絵本を見るとき頭をかしげたり、首を曲げたりする。
- よく前に出て行って物を見たり、顔をごく近づけて見たりする。
- 本を読む時、行をとばしたり読み違えたりする。
- 画数の多い漢字や目盛り、地図などを見るのが苦手そう。
- 前の方の座席から黒板の文字が見えない。
- 視力検査で目を覆うのを嫌がる、左右の視力差が大きい。
- 視線が合わないことがある。
- 目の動きがおかしいと感じることがある。

目が少し見えにくくても、普通に生活できるので気づかないことがよくあります。しかし、年齢が上がったり、勉強したりするようになると「あれ？どうしてかな」と困ってしまうことがあります。気になったら、一度相談してみましよう。



## はじめに

近年、ICTの進歩は目覚ましく、特にスマートフォンに代表されるタブレット端末は、持ち運びに優れ、コミュニケーション手段としての活用がより広がり、視覚に障害のある人たちの学習環境や生活環境にも大きな変化をもたらしています。2011年、文部科学省は「教育の情報化ビジョン」を公表し、21世紀を生きる子供たちに求められることとして、生きる力とそのための情報活用能力の育成の重要性を提言しています。本校でも、平成25年度から、文部科学省の委託事業である「特別支援学校機能強化モデル事業（特別支援学校のセンター的機能充実事業）」の指定を受け、「ICT・AT活用による効果的な学習環境の設定」をテーマとし、教職員を全盲・弱視・重複の3つのグループに分け、各障害の状態に応じた機器活用の方法と各年齢段階・中途障害ケースでの指導内容という2つの観点を持って、ICT・ATを活用した授業や課外活動に取り組んできました。この度、この研究成果を、『見やすい学習環境を整えるためのハンドブック』としてまとめました。不十分な点は多々ございますが、この事業の目的である、成果を地域内の小中学校等への支援に活かすことができればと思っています。

この研究を進める上で、慶應義塾大学の中野泰志先生をはじめ多くの方々にご指導をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。ICTの世界は日進月歩であります。今後は、このハンドブックの改訂版を作っていくことが不可欠でございます。そのためにも、ご一読された皆様から忌憚のないご意見やご感想を賜れば幸いです。

平成28年3月

石川県立盲学校

校長 西田 信一



|      |                        |       |    |
|------|------------------------|-------|----|
| 1    | 見えにくさについてのQ & A        | ----- | 1  |
| Q 1  | 教科書やプリントを読みたい          |       |    |
| Q 2  | 遠くのものを見たい              |       |    |
| Q 3  | 図や写真をはっきり見たい           |       |    |
| Q 4  | 動いているものを見たい            |       |    |
| Q 5  | パソコンの画面を見やすくしたい        |       |    |
| Q 6  | はみ出さずにノートを書きたい         |       |    |
| Q 7  | 重さや長さをはかりたい            |       |    |
| Q 8  | 漢字を正しく読み書きしたい          |       |    |
| Q 9  | 意味や単語を辞書で調べたい          |       |    |
| Q 10 | 立体的な形（地図・動物等）を知りたい     |       |    |
| Q 11 | 迷わずに目的地に着きたい           |       |    |
| Q 12 | 色を見分けたい                |       |    |
| Q 13 | 新聞や本の内容を知りたい           |       |    |
| Q 14 | スケジュール管理がしたい           |       |    |
| Q 15 | 音声でメモを取りたい             |       |    |
| Q 16 | 音声（話したこと・聞いたこと）を文章化したい |       |    |
| Q 17 | 作業の手順を確認したい            |       |    |
| Q 18 | 活動の終わる時間を知りたい          |       |    |
| Q 19 | 話せないけど、自分の意思を伝えたい      |       |    |
| Q 20 | 音に敏感だけれども、安心して過ごしたい    |       |    |
| 2    | ICT・AT機器の紹介            | ----- | 23 |
| 3    | 活用事例の紹介                | ----- | 29 |
| 4    | 困ったときには…～よくある質問～       | ----- | 43 |